

そらんぽへ行こう

固 博物館・プラネタリウム (TEL 355-2700 FAX 355-2704)

七夕っていつ？

7月7日ではない??

7月7日は七夕。織姫と彦星が巡り合う1年に1度の催事ですが、8月に七夕を行う地域があるのをご存知でしょうか。「仙台七夕まつり」など、地域によっては、8月7日前後の月遅れの七夕に星祭りをする所もあるようです。

なぜ8月に七夕を行うのでしょうか。そもそも七夕の元になる慣習が始まった当時の暦は旧暦（太陰太陽暦）で、月の満ち欠けを基にしたものでした。そのため1年が約354日となり閏月で調整していました。その後、明治の改暦により七夕は新暦（現在の暦）の7月



7日に行うようになりました。

しかし、新暦の7月7日は梅雨の時期で、なかなか星も見られません。そのため8月に七夕を行う地域があります。国立天文台では、2001年から旧暦の7月7日である「伝統的七夕」の日を広く報じています。

今年の伝統的七夕の日は8月10日です。梅雨が明け、星がよく見える伝統的七夕の日に合わせて、織姫と彦星の出会いを祈りながら、短冊に願いごとを書いて笹に飾ってみてはいかがでしょうか。

文化財さんぽ

固 文化課 (TEL 354-8238 FAX 354-4873)

タイル張りの洋館

アミカン本社事務所



タイル張りの洋館
アミカン本社事務所



アミカン本社事務所の正門と煉瓦塀

富田浜元町の国道1号沿いに建つ古風な建物をご存知でしょうか。そこは、明治31（1898）年に、国内初の手動式製網機を発明し、漁網の工業生産と販売を本格化させた漁網メーカー「アミカン株式会社」の本社事務所です。外壁のスクラッチタイル張りや避雷針、バルコニーなどが、産業の近代化を象徴する建物と言えるでしょう。

同社の本社事務所、コンクリート造りの正門、重厚な趣の煉瓦塀は、同社が「網勘製網株式会社」として発展していた昭和初期に建

てられました。

歴史を感じる建造物が減少傾向にある中で、近代産業による発展の面影を伝えるこれらの建物は貴重な「国登録有形文化財」です。現在、NHKで放送中の朝の連続テレビ小説「虎に翼」のロケ地にもなり、5月に2回、正門と煉瓦塀が放映されました。

昔ながらの漁師町の町並みが残る富田地区ですが、近代産業の面影も感じながら周辺を散策してみませんか。